

科目名	特別講義 2							年度	2025
英語科目名	Special Lecture 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	ゲスト講師	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン・エンジニア・プロデューサー		
<b>【科目の目的】</b> 主体的に講義に参加し、エンタテインメント業界の知識や問題意識を1年生前期の学習に積極的に活かす視座を得る。講義を通じて、各自が2年前期に向けた今後の指針を見出すきっかけを得る。また、特別講師を招いたり、授業やイベントを開催することで、学習体験を豊かにする。									
<b>【科目の概要】</b> 特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。									
<b>【到達目標】</b> A. 主体的に講義に参加する。 B. エンタテインメント業界の知識や問題意識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る。 C. 講義をきっかけに各自が2年前期に向けた今後の自分の指針を発見する。									
<b>【授業の注意点】</b> 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	主体的に講義に参加し授業内発表ができる			主体的に講義に参加できる				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	エンタテインメント業界の知識や問題意識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る			エンタテインメント業界の知識や問題意識を、説明することができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	講義をきっかけに各自が2年前期に向けた今後の自分の指針を発見する			講義をきっかけに各自が2年前期に向けた今後の自分について考察できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
<b>【教科書】</b> プリント資料									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業への参加姿勢とレポートによる。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		特別講義 2			年度	2025
英語表記		Special Lecture 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 特別講義とは	授業対象講義の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題 実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 特別講義の可能性	授業対象技術を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等